授業概要（シラバス）

専門学校日本ホテルスクール

■科目基本情報

科目番号	GS202		分類	講義科目	
授業科目名	プロトコール(英)		英文授業科目名	Protocol	
年度	2024年度		年次	昼間部　2年	英語専攻科
開講学期	通年		授業の方法	講義科目	
単位数	2単位		年間授業時間数	30時間	
科目区分	一般教育科目		授業コマ数	25コマ	
担当教員名	オレグ・プリミアーニ	実務経験なし	備考		
経歴					

■授業・科目情報

学習目標	グローバルスタンダードに対応すべく、国際的なコミュニケーションツールとしてのプロトコールを理解する。プロトコールの知識とスキルを実社会で実践し活用することを目指す。プロトコールに基づく好感度の高い言葉遣いや所作、振る舞いを身につける。
教科書	

授業計画

回数	内容
1	What is Protocol? Differences between manners, etiquette and protocol (textbook pp.3・5)
2	Respecting local customs and different cultures (textbook pp.5・7)
3	Rank consciousness, precedence, and reciprocity (textbook p.7)
4	Ladies first (textbook pp.7・9)
5	Birth and spread of Protocol (textbook pp.11・13)
6	Transmission to Japan (textbook p.15)
7	Situations in which Protocol is used in Japan (textbook pp.23・25)
8	What is a national symbol? (textbook p.45)
9	National flags: general concepts, sizes, forms, and patterns (textbook pp.47・63)
10	How to attach a national flag, part 1 (textbook pp.67・69)
11	How to attach a national flag, part 2 (textbook pp.69-73)
12	Reviewing
13	前期試験　Term1 Exam.
14	The national flag of Japan (textbook pp.49・51)
15	National flags of the US, the UK, and France (textbook pp.57・59)
16	National flags of the People's Republic of China and South Korea (textbook pp.59・61)
17	National anthems: general concepts (textbook p.83)
18	Origin of "Kimigayo" (textbook p.85)
19	National anthems of the US, the Uk, and France (textbook pp.87-91)
20	National anthems of the People's Republic of China and South Korea (textbook pp.91・93)
21	The order of precedence: general concepts (textbook pp.105・107)
22	The official order of precedence (textbook pp.107-111)
23	The ceremonial order of precedence (textbook pp.117-121)
24	General review
25	後期試験　Term2 Exam.

授業の進め方	テキストに沿って講義を行い、同様に視覚教材を使用し詳細な部分を理解する。
試験の実施方法	前後期各1回 試験期間に設定し、形式は文書試験とする。
成績評価方法	本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。 ①試験得点＝50%（10ポイント） ②出席率　＝50%（10ポイント） 上記の2つの項目をそれぞれ10ポイント（合計20ポイント）に置き換えて、そのポイントに応じてA,B,C,D,F評定を決定する。 尚、前提基準として①試験全体平均点の50%未満。または②出席率の50%未満に該当する場合には「F」評価とするが、通年教科の後期学年末の評価については、前期および後期全体の状況をもって算出する。
関連科目	ビジネス実務
参考書	『改訂版「さすが！」といわせる大人のマナー講座』 日本マナー・プロトコール協会著　PHP研究所 『国際儀礼の基本知識』 寺西千代子著、税務研究会税研情報センター
学生へのメッセージ	ホテル・レストランの職場では少なからずプロトコールの知識が必要不可欠となります。仕事上はもちろん利用客としてホテル・レストランを利用する頻度も社会人になると高くなることから社会常識としても是非身に付けてください。

以上